

# かしま 議会だより



## 第88号

平成29年3月議会号

平成29年4月発行

発行/鹿島市議会 編集/議会だより編集委員会  
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



花と酒まつり

(平成29年3月25日・26日)

3月定例会	p2~p3
議案審議	p4~p5
一般質問	p6~p10
新年度予算審査報告	P11
災害対策会議	P12
行政視察報告	p13
委員会審査報告	p14~p15
議会あれこれ・編集後記	p16





現地調査(五本松新築線)

- 13日 新年度予算審査特別委員会
- 14日 新年度予算審査特別委員会
- 15日 休会(議案整理)
- 16日 一般質問(2名)
- 17日 一般質問(2名)
- 18日 休会
- 19日 休会
- 20日 休会
- 21日 一般質問(3名)
- 22日 一般質問(3名)
- 23日 委員長報告、議案審議  
質疑・討論採決  
閉会

- 平成29年 鹿島市議会  
3月定例会会期日程
- 1、会期  
自 平成29年2月24日  
至 平成29年3月23日
- 2、日程
- 24日 開会
- 会議録署名議員の指名  
会期の決定  
議案の一括上程  
(市長の提案理由説明)
- 25日 休会
- 26日 休会
- 27日 休会(議案研究)  
発言内容通告締切  
(正午)
- 28日 議案審議  
質疑・討論採決
- 〔3月〕
- 1日 休会(議案研究)
- 2日 議案審議  
質疑・討論採決
- 3日 休会(議案整理)
- 4日 休会
- 5日 休会
- 6日 常任委員会(議案)
- 7日 新年度予算審査特別委員会  
(現地調査)
- 8日 新年度予算審査特別委員会
- 9日 新年度予算審査特別委員会
- 10日 新年度予算審査特別委員会
- 11日 休会
- 12日 休会

# 次のことを審議し決定しました

【3月定例会】

議案番号	議案内容	杉原元博	片淵清次郎	樋口作二	中村和典	松田義太	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	角田一美	伊東茂	松本末治	徳村博紀	福井正	松尾征子	光武学	松尾勝利	採決結果	
議案第1号	平成29年度鹿島市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 原案可決
議案第2号	平成29年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 原案可決
議案第3号	平成29年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 原案可決
議案第4号	平成29年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 原案可決
議案第5号	平成29年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 原案可決
議案第6号	平成29年度鹿島市給与管理特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 原案可決
議案第7号	平成29年度鹿島市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 原案可決
議案第8号	鹿島市犯罪被害者等支援条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第9号	鹿島市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第10号	鹿島市職員の育児休業等に関する条例及び鹿島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第11号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第12号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第13号	鹿島市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第14号	鹿島市子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第15号	鹿島市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第16号	平成28年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 原案可決
議案第17号	平成28年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第18号	平成28年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第19号	平成28年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第20号	平成28年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第21号	防災情報伝達システム整備工事(CATV屋内放送システム分)の請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決
議案第22号	平成28年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 原案可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)



# 議案審議

議案第14号

## 鹿島市子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について



勝屋 弘貞 議員

質問 お子様を預かって

不測の事態が発生した場合の対策は。また、援助会員の研修の内容は。

答弁 地域子育て支援補償保険に市が加入する。お子様・援助会員に対し、特別な過失以外の一般的な事故や入院に対応

できる。

研修は12回の養成講座を行った。内容は、医師による「心身の発育と病気」、救急救命士による「子どもの安全・応急処置」、養護教諭による「レクリエーション・折り紙」、保健師による「小児看護の基礎知識」等、今後、新規の援助会員にも受講してもらい、援助会員に問題があるようなら、その都度指導を行っていく。

議案第14号

## 健全な財政運営について



松田 義太 議員

質問 平成29年度予算において、市債（借入金）

残高は約110億円（地方交付税により全額償還される約48億円を含む）

になり、基金残高は平成23年度ピーク時39億2千万より約24億までに減少している。

今後、鹿島市においては、市民会館建設、鹿島駅周辺整備等と大型事業も予定されており、厳しい財政運営が予想されるが担当課の見解をお伺いする。

答弁 厳しい財政状況に

対応しながら、計画的に政策的、投資的事業を実施し、第六次総合計画の実現に向け事業展開を行っていく。



議案第14号

## 子育て援助活動事業（ファミサポ）について



中村 一孝 議員

質問 先日ある市民から放課後や休日などに「子育てサポート」をしたい

がどこに相談していいかわからないというご相談がありました。

今回のファミサポ事業で、子育て支援センターなどでお子様を預かるということになります。今後どのように展開していくのか？また、市民への周知徹底にどう務めて

議案第16号

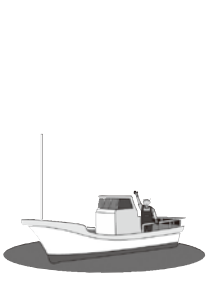
## 平成28年度鹿島市一般会計補正予算（第5号）について



稲富 雅和 議員

質問 航路浚渫、重機使用料ほかの減額について

て、委員会資料には、塩田川河口での航路浚渫の予定で予算を上げていましたが、国の研究による有



明海漁場改善実証事業で、泥をやらわらかくしてから流すという研究事業が実施された。エバ船の航路浚渫事業と国の研究とだぶるので、今年度は見送ったということ。エバ船の航路浚渫事業が実施された。

議案第16号

## 平成28年度鹿島市一般会計補正予算（第5号）について



勝屋 弘貞 議員

質問 麻しん・風疹・水痘予防接種事業及び妊

婦・乳幼児検査事業での受診者数は。

答弁 麻しん・風疹は予定590件中569件、水痘は1〜3歳の間に2回の接種をやらなければならぬので、27年の実績から多めに計上しているが、予定1000件中

議案第1号

## 平成29年度鹿島市一般会計予算



伊東 茂 議員

質問 新年度当初予算12,879,000千円の編成は第6次総合計画

に沿い、地方創生を強く意識した内容である。市長任期最終年度として、今まで議論を重ねてきた子育て支援（給食費無償・保育料保護者負担減）を打ち出すべきと考

500万円を有効利用し定住促進を促すべきである。答弁 保育料は無料から7万円まで10段階の負担料を実施している。学校給食は教育基本法に基づき、授業料は憲法に関わる。議論が必要と考える。

議案第1号

## 職員の健康調査等実態調査を



松尾 征子 議員

質問 職員の超過勤務を調べると一ヶ月一〇〇時間を超え二十時間の職員もある。二八年度長期

休暇者が四三名。その内六名がメンタルによる休暇。精神的ないきづまりは体調を悪くすることにもなる。仕事量は増え、複雑になっている。一方職員は年々減らされている。特に女子職員は市役所の仕事のあと、子育て、家事をはじめ重圧は多い。以前職員の健康調

査をした時ストレスの多い職場と感じた。職員の健康調査をやること。答弁 健康であってこそ市の仕事ができる。ご指摘のように職員の健康調査や働き方を注意しながら進める。



## マイナンバーカードの交付状況と利用について



角田 一美 議員

質問 現在のマイナンバーカードの交付状況は

どのくらいか。

答弁 1月末現在の交付枚数は1971枚。申請者率は全対象者の9%程度、交付率は6.4%である。

質問二 マイナンバーカードを使った証明書の発行はいつから利用できる

のか。答弁 県内では現在8市町でコンビニでの証明書発行を開始しているが、杵藤地区ではコンビニユーザを使っており一緒にスタートすることになっている。現在、勉強会を実施中である。



# 一般質問

## 『高齢ドライバーの交通事故対策と 鹿島市地域公共交通網形成計画』について



杉原 元博 議員

質問一 地域公共交通網形成計画において、運転免許を自主返納される高齢者の受け皿としての具体的な施策は。

答弁 公共交通機関の利用回数券等の給付を検討する。また出前講座等を活用し、公共交通を利用した外出の促進を図る提案やPRを行う。

質問二 七浦・能古見・古枝地区の山間部等、公共交通の通らない空白地域への対応は。

答弁 柔軟な対応が可能となる交通網による移動支援が必要。デマンド

タクシーの運行も考えてみたい。

質問三 今後は公共交通の利用者層の変化が十分予想される。その対応、再編について。

答弁 バス路線のルート見直し、外出先の目的的に合せた運行水準に見直す事で効率的・効果的な運行形態を目指す。

### 『鹿島市の空き家・空き店舗の現状と対策』

質問一 空き家・空き店舗の地区毎の現状と、過去5年程度の推移について。

答弁 市内全域UIJターゲット対象の「空き家バンク制度」で、鹿島地区1件、浜地区3件、七浦地区1件、計5件の登録がある。過去5年間で大きな変動はない。

質問二 増加する空き家・空き室の今後の活用、居住支援について。

答弁 「空き家バンク制度」はスタートから10年目を迎え、実績も着実に上げてきている。引き続き、まちづくりや雇用、定住に関係する庁内各部署と連携をとり成果に繋がるよう取り組む。

質問三 新たな住宅セーフティネット制度を取り入れるための施策は。

答弁 現在、佐賀県の担当部署で色々と検討中であり、県との協議結果を受け、関係部署や民間組織と調整を図る。

質問四 「リノベーションスクール」が全国で注目されている。手法として考えては。

答弁 酒蔵ツーリズム等、今まで実践し成功した取り組みを、時代の変化に臨機応変に対応・継続していく。



### 災害時の危機管理 BCP(業務継続計画)

質問一 ①東日本大震災や熊本地震などの災害時に被災者の避難誘導や必要な事務などを行うBCP計画策定を自治体や事業所が行うよう、国から求められている。災害後の対応の手順等を作ること

で、混乱を防ぎ市民に安全安心を与えることができる。早急な災害復旧に繋がると思われる。鹿島市の取り組みは。

②避難所のトイレの問題は衛生状態に影響があるが、取り組みは。

答弁 BCPは現在策定していないが策定する予定である。トイレは例えば学校のプール付近に設置等を考えている。



## 玄海原発再稼働について



松尾 征子 議員

質問一 原発事故から6年が経過し、原発の危険性が明らかになると同時に、原発がなくとも国民生活に支障がないことが明らかになった。三月七日玄海町の岸本町長は玄海原発三・四号機の再稼働を了解した。玄海町長の同意を得て、佐賀県知事も同意の方向。一応全

県の首長の意向を聞いてから結論を出すという。原発の再稼働については国民の多くが再稼働反対を訴えています。十八日に市長は、県の会議出席して再稼働についての意見を述べられるわけです。鹿島市民の代表として「再稼働反対」の意見を表明してもらいたい。

質問二 一部負担は残っているが窓口無料化が実現した。これからは、

一部負担金を止め完全無料化の実現を。さらに高校卒業まで完全無料化の実現を。この事は貧困対策と少子化対策としても急がれるものである。

答弁 市として無料化の為に六七〇〇万円必要。さらに一部負担金を無料にすれば、二五〇〇万円の財源が必要。さらに高校卒業までとなれば、一部負担金分で一七〇万円。無料化分で七〇〇万円。高校まで完全無料化の為に、さらに三三〇〇万円必要になる。病院受診のない家庭とのバランスの為に受益者負担をお願いするもの。



### 少子化対策として 完全無料化を

質問二 一部負担は残っているが窓口無料化が実現した。これからは、

## 鹿島市ならではの 成熟社会について



樋口 作二 議員

質問一 格差の拡大など国際状況をどう考えるか。

答弁 人類がこれから直面する大きな課題である。理想的なのは北欧型の解決だが原資をどうするかが課題。

質問二 ブータンの国民幸福量を政策にできないか。

答弁 人の幸せは①健康②愛を感じる③楽しむ④過ごせる仲間がいることと言われているが、ルールとして持ち込むのは難しい。

質問三 国民の幸福度の指標として地域の活力を挙げているが、鹿島市の地域の活力度をどう思うか。

一部負担金を止め完全無料化の実現を。さらに高校卒業まで完全無料化の実現を。この事は貧困対策と少子化対策としても急がれるものである。

答弁 市として無料化の為に六七〇〇万円必要。さらに一部負担金を無料にすれば、二五〇〇万円の財源が必要。さらに高校卒業までとなれば、一部負担金分で一七〇万円。無料化分で七〇〇万円。高校まで完全無料化の為に、さらに三三〇〇万円必要になる。病院受診のない家庭とのバランスの為に受益者負担をお願いするもの。

な連携のもと進めており、実績も上がっている。

質問三 若者無業者の中で、引きこもり者へはどのように支援しているか。

答弁 来年度から県の引きこもり地域支援センターも開設されるので、福祉課、社会福祉協議会、県が連携して支援していきたい。

質問四 市民部長として退職を前に市民にメッセージをいただきたい。

答弁 鹿島市の進展のために三世代同居を勧めたいが、一般的に高齢者には、「親孝行しやすい高齢者」と「親孝行しにくい高齢者」がいるといわれる。自戒を込めて親孝行しやすい高齢者が増えることを期待する。





一般質問

平成29年度鹿島市一般会計予算について



松田 義太 議員

鹿島市における民生費（社会保障費）の課題について

質問一 民生費の推移を見てみると平成元年が約17億4千万、平成27年が約52億3千万と約3倍に伸び、市の予算の4割を占めている。拡大する背景と、今後安定的な財源の確保が大きな課題と考えるが担当課の見解をお伺いする。

答弁 当市において、児童福祉費が平成11年が約12億1千万、平成27年が約22億8千万と約2倍に伸びている。これは、子育て支援の充実として、「保育施設の整備や運営支援。児童手当、医療費

助成等」が考えられる。又、医療費助成（子ども等）の充実など、地方単独で出来る事は着実に実施していく。

同時に財源の確保は消費税増税など今後、国の動向を注視しながら、必要に応じて、県内市町や市長会等と連携して国県への働きかけを行っていきたい。

質問二 介護保険の総費用は急速に拡大しており、「制度の持続・継続性」が課題になっている。そこで、国は要支援1・2の軽度者を従来の介護サービスから、住民ボランティアや民間事業者などを利用したサービスへ移行することにより「公費に頼らない地域づくり」を進めている。鹿島市において、その役割を担う生活支援事業については、社会福祉協議会に委託されている。しかし、体制整備の構築につ

いては、地域（行政区・民生・児童委員）との連携はもとより、地元医師会、介護事業者等の協力が不可欠と考える。委託事業ではあるが、市も積極的に取り組んでもらいたい。

答弁 生活支援事業については、市も社会福祉協議会と密に連携して、責任を持って体制整備に努めていく。

質問三 これからの鹿島地域福祉の目指すべき方向性は。

答弁 全国に事例があっても完成したモデルはない。鹿島モデル「地域包括ケアシステム」の構築に全力で取り組んでいきたい。



市民に親切的な市役所について



中村 一堯 議員

質問一 市民の皆さんは市役所へよく行かれるでしょうか。確定申告や住民票の発行、農地や建築、住まいや福祉の手続きなど、それぞれの機会がありますが、ほとんどの人にとってたまにしか行かない場所だと思いませんか。そして、よく行かない場所だからこそ、市役所に行ったときに緊張したり不安になったりします。

窓口で誰に話しかけて良いのか分からないし、話しかけづらい雰囲気も今の市役所にはありません。これは、トップである市長や副市長の責任です。部下の職員さんが働きやすい職場の環境を整

えているのか。職員さんたちが、働きやすい職場は良い雰囲気です、市民の人たちも気軽に訪れられる開かれた市役所であると考えます。

最近では大手広告代理店の女性社員自殺問題という事で一気に社会が変わりつつありますが、市の職員さんが働きやすいように、そして良い職場の雰囲気をもつて、市民の皆さんに親切的な市役所を目指して欲しい。そのためには、市長はもっと市役所内を回ったり、色んな窓口に行ったり、市民と会話して、訪れやすい市役所を作るべきだと考えるがどうか？

答弁 職員を信用していただきますので、トップの私が見て回らないと職員が真面目にやらないとかはないと思います。市長の私

課を超え当事者意識で担当するよう申し付けた。

空き家対策について



勝屋 弘貞 議員

質問一 「市長と語る会」の内容と感想。

答弁 災害時対応の備蓄状況や、沿岸道路については太良・諫早と協力して取り組んでいる旨などを話した。特に市民会館建設については財源・規模・工法など具体的な方針を策定するため、情報を提供し意見を聞くという趣旨があった。6次計画に取り組み1年。新年度予算に直接関係するところもあるが、単年度ではなく当面の課題を考えた。この時期に開催となった。

部課長も同席していたが、「市役所職員は評論家ではなく実務家たれ」と、やり取りを踏まえ、

たら逆に職員が緊張するというところもあると思いますので、そこは部長に任せたり、課長に任せたりして、部下の管理を徹底します。最近、市役所内の雰囲気が悪くなったねと直接私に言っている市民もいらっしやいますので、今後とも親切的な市役所を目指して対応したいと思えます。



市役所 1階

質問三 地域公共交通網形成計画の内容は。

答弁 来年度から5年、バス路線変更など運行の実態や課題を検証して再編する。デマンドタクシーは初めての取り組みで、今年の10月に廃止バス路線エリアから導入し拡充していく。高津原乗り合いタクシーは買い物施設等への乗り入れと降車をフリーにする。

※デマンドタクシー... 会員制で時刻表のある乗りタクシー。事前に予約し、自宅まで迎えに来る。降りる場所は指定された施設やバス停となる。



市内循環バス

鹿島の農業振興の課題について



稲富 雅和 議員

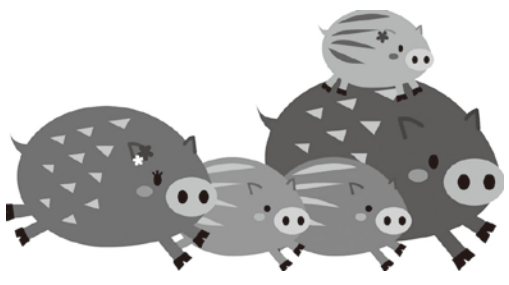
質問一 鹿島市緊急農業プロジェクトの組織態勢はどうなっているのか。設置の目的や考え方、現状の活動状況についてお聞かせください。

答弁 農業農村を取り巻く情勢はグローバル化や貿易の枠組みの見直し、農業団体の組織改革など農政の大きな変換期となってきた。本市において将来的に農業・農村を維持発展させるために、どのような対策をとるのか、また早急に対応していく課題は何かを洗い出し、対応していく必要がある施策を横の繋がりでしっかりと取り組んでいく事を柱にプロジェクト会議を設置した。

農業競争力強化、新しい農地制度、中山間地振興、鳥獣害防止対策の4つを早急かつ緊急的な課題として次年度より2年間取り組むこととしている。また農業者等の知恵や工夫をお伺いしながら事業を進めなくてはならないため、市内の農業者の方々にアドバイザーとして参画して頂き、現場目線での事業遂行をしていく。

質問二 イノシシ解体処理施設の設置を望む声もある中、解体処理施設の設置についての可能性、取り組み状況などお聞かせください。

答弁 猟友会では、捕獲したイノシシの有効活用や特産品を目指したイノシシ肉の生産やジビエの取り組みのため解体処理施設の候補地を選定されている。しかしながら自己財源が少ないことや周囲への配慮、排水対策な



ど様々な点で難航されている。排水対策については、保健所と協議されておられますが、血を含んでいますので汚水対策のクリアが必要。財源確保の検討の場として猟友会長と市、県生産者支援課、農政企画課の担当者とイノシシ解体施設設立の補助金について協議を行っている。

一般質問



# 新年度予算審査特別委員会審査報告書

平成29年3月2日の本会議において付託されました  
 議案第1号「平成29年度鹿島市一般会計予算について」  
 議案第2号「平成29年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について」  
 議案第3号「平成29年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について」  
 議案第4号「平成29年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について」、議案第5号「平成29年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について」  
 議案第6号「平成29年度鹿島市給与管理特別会計予算について」  
 議案第7号「平成29年度鹿島市水道事業会計予算について」  
 の7議案については、3月7日に現地調査を、8日、9日、10日、13日、14日に審査を計6日間にわたり特別委員会を開き、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。  
 以上、会議規則第98条の規定により報告します。

新年度予算審査特別委員会 委員長 徳村 博紀  
 副委員長 中村 一哉

## 平成29年度一般会計予算審査の委員長報告に反対する討論

### 公平・公正な行財政運営を

松尾 征子

行財政運営は市民の暮らしを守るために公平公正でなくてはならない。予算案に次の理由で反対する。

- ①同和2団体へ活動費丸がかえの団体補助4,074,000円。
- ②全体計画も示されない道の駅整備事業。今の計画でも必要ないと思われるものがある。
- ③交流プラザ関連予算完全な状況で買いとったはずの施設。次々と修理箇所が出て来ている。
- ④市の職員大幅に削減し続け、職員の生命と健康をおびやかしている。120時間もの残業。長期休暇も多く、その中にはメンタルによる休暇もある。この事は仕事にも支障が出る。

## 平成29年度一般会計予算審査の委員長報告に賛成する討論

### 議案第1号平成29年度一般会計当初予算

福井 正

すべての当初予算に賛成であります。議案第1号、平成29年度一般会計当初予算について賛成の立場で討論いたします。一般会計当初予算は、歳入歳出総額12,879,000千円で編成され、28年度当初予算対比725,000千円(5.3%)の減であるが、地方創生に沿ったバランスのとれた予算となっている。定住促進・子育て支援等の施策や道の駅鹿島整備や市営住宅跡地活用などの投資的経費や、民生費として、ファミリーサポートセンター事業、鹿島小学校大規模改修事業にともない放課後児童クラブの鹿島小学校内設置や古枝小学校大規模改修や放課後児童クラブ建設事業、中学生までの医療費無料化と窓口での医療費支払無等の子育て支援にも十分配慮した予算であり、少子化対策予算となっている。産業面でも圃場整備による農業振興にも取り組む予算であり、議案第1号平成29年度一般会計当初予算に賛成する。

討論採決の結果、賛成多数で可決しました。



鹿島小学校



古枝小学校

## 農業・農村の振興計画について



中村 和典 議員

質問一 佐賀県農業白書を見て鹿島市の農業は、どれくらいの地位にあるのか。

答弁 全県的に産地規模の縮小化が進んでおり、鹿島市も例外ではない。ランク付けは一概にはできない。

質問二 第六次総合計画の農業分野及び緊急農業振興プロジェクトの毎年度の実績は市民に公表するのか。

答弁 生産者や市民が何か変わったなど感じるような取り組みをしていきたい。

質問三 集落営農組織のアンケート調査を実施されているが、その目的と分析結果の内容は。

答弁 平成18年に水田経営所得安定対策の要件をクリアするために設立された18組織の組合員744人を対象に、集落営農の問題を「見える化」し、目指すべきビジョンを作ることを目的に実施した。その結果、組合員の年齢は60歳以上が60%、後継者なしが79%、法人化を進めるべきが23%、今後は必要と思うが60%となっている。

### インフラの老朽化対策について

質問一 鹿島市公共施設等総合管理方針の内容は。

答弁 鹿島市が所有する公共施設等のあり方に関する基本方針で、対象期間は、本年から2046年までの30年間としている。

質問二 地域農業ストックマネジメント事業の実施状況は。

答弁 市内に可動堰の頭首工は29ヶ所ある。そのうち30年を経過したものが20ヶ所あり、年次計画に沿って修繕工事を行っている。

質問三 工事費については、各頭首工の状況によって異なると思うが、負担割合はどの様になっているのか。

答弁 国55%、県15%で70%、市と地元が土改連賦課金を含めて32.5%である。しかし、中川水系は他の水系に比べ市の負担割合が6.5%高い。

質問四 今後、負担割合を見直す考えはないのか。

答弁 他にも関連施設が沢山あるので、全体的に検討したい。



鹿島川頭首工

## 【佐賀県後期高齢者医療広域連合議会 2月定例会報告】

去る2月21日に定例議会が開催され、平成29年度一般会計及び後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算(案)、後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例等が全会一致で可決決定された。

平成29年度の特別会計歳入歳出予算総額は1,256億9,874万1千円、前年度当初予算比40億4,106万8千円(3.3%)の増。

平均被保険者数は12万2,400人(1.29%の増)、1人当たり医療給付費は101万6千円を見込み、医療給付費総額は1,244億7,567万円(3.33%増)を計上。(29年度の保険料率は、現行と同じく据え置き。)

患者負担の軽減や医療給付費(調剤)の適正化を図るため、ジェネリック医薬品の使用を推進し、ジェネリック医薬品の数量シェア目標を平成29年半ばで70%以上、平成32年度末までに80%以上を目指すこととされた。



佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員 角田 一美



## 議会運営委員会行政視察報告

日程／平成29年1月25日～26日

- 三重県伊賀市 人口：93,896人 世帯数：39,845世帯
- 三重県亀山市 人口：49,709人 世帯数：20,817世帯

研修内容は2ヶ所とも議会改革全般について研修。

- ①議会基本条例制定過程と主な活動事項
- ②議会報告会
- ③議会広報
- ④議員提案(政策提案)の実施状況

平成29年1月25日～26日に議会運営委員会の行政視察をしてまいりました。

### 1月25日三重県伊賀市

伊賀市は、早稲田大学マニフェスト研究会による2015年調査で全国約1800の都道府県議会・市町村議会の中で17位です、次に記述する亀山市が39位、鹿島市は206位です。

議会基本条例は平成19年2月28日に議員発議され可決されました。これは全国の市議会として最初に公布・施行された条例であります。条例に基づく活動は、議会報告会・政策討論会・出前講座・議員定数・議員報酬・基本条例の見直し・執行機関との関係(一問一答方式・反問権付与・文書質問)・議員研修の充実強化・議会広報の充実からなっています。

議会報告会は、4人6班体制で任期中は同一班・班編成は期数順に振り分け地域性は考慮されていません。報告会は概ね小学校区単位に設置された「38地区の住民自治協議会」を対象に各年1回開催されています。

政策討論会は、提案者による説明(議題・趣旨・提言)ののち、参加議員による自由討議が行われます。

出前講座は各委員会活動として市民各種団体との意見交換が行われ議会での質問や提言に資されています。

議決すべき事件の積極的検討・企業会計に係る議会のチェック機能の充実・議会のIT化(平成27年4月にタブレットを議員が購入し会議に持ち込みが許されています)執行部も紙情報を使用されており、完全ペーパーレスとはなっていません。

### 1月26日三重県亀山市議会

三重県亀山市は人口49,709人、20,817世帯です。

亀山市議会では、議員全員で構成する議会改革推進会議で継続的に議会改革に取り組まれています。その目的は①地方分権の時代にふさわしい議会の在り方の調査研究、②社会情勢や他市の状況等議会を取り巻く環境の調査研究、③条例における目的の達成の検証④検討部会の部会員の選出、⑤亀山市議会「議会改革推進会議規定」に関する事、⑥その他推進会議の目的の達成に必要な事項に関する事を行われています。

広聴広報の取り組みとして、

①議会だよりとして定例会4回新年号1回発行されています印刷製本費として、年間260万円の予算であります。編集は広報広聴委員会で取り組まれています。

②議会映像の放送とインターネット配信として、平成20年8月から本会議・各常任委員会をインターネットでライブと録画で配信。ケーブルテレビでは本会議をライブ・録画放送されています。

議会映像等インターネット配信業務経費は、年間約260万円です。映像は、会派代表者会議で確認後、議会事務局(職員6名と臨時職員1名、運転手1名)で番組原稿を作成、事務局で議会活動の映像撮影し、番組制作をケーブルテレビ会社に委託し平成23年9月定例会より放送がスタート。

「こんにちは市議会です」は広報広聴委員会で番組づくりが行われています。

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| 委員長 福井 正         | 副委員長 松本末治 |
| 委員 伊東 茂          | 委員 角田一美   |
| 委員 勝屋弘貞          | 委員 稲富雅和   |
| オブザーバー(副議長) 光武 学 |           |



伊賀市議会議場

## 鹿島市議会災害対策会議要綱

### 要綱設置で、災害時の議員の対応が迅速に

近年、多発しております災害等(地震、津波、台風、ゲリラ豪雨)について、鹿島市議会として市民の安全・安心を考え、約1年間、先進地視察や研修会実施し、災害における議員の対応を総務建設環境委員会内で検討してまいりました。

慎重に議論を重ね、災害対策会議要綱をつくり上げることができました。この要綱を設置することで、災害に対して議員の迅速な対応が可能になると考えております。

以下、要綱の概略を記載します。

鹿島市議会災害対策会議要綱は、

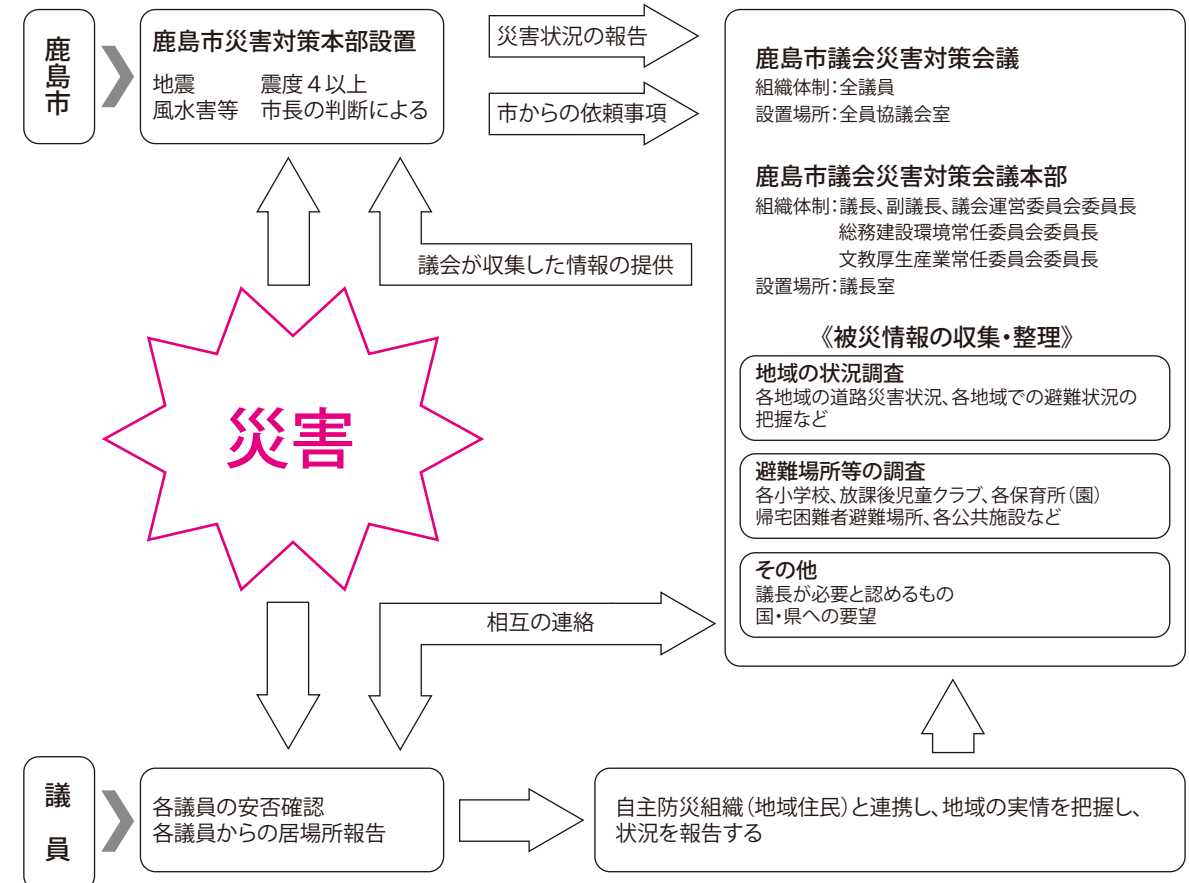
第1条(趣旨)から始まり、第2条(設置について)、第3条(組織について)、第4条(所掌事務について)、第5条(議会事務局の役割)、第6条(補足)となっています。

市民の方にもご理解いただけるように、下記の図式表を作り、市役所4階、議会フロアに常時掲げ、議員一人ひとりが緊張感を持ち災害対応に努めてまいります。

この要綱は、平成29年4月1日から施行しています。



### 鹿島市議会における災害対策





## 地方創生対策特別委員会

鹿島市では、鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定され、政策目標が示されました。力強く推進し地方創生を加速させるとしています。

平成27年8月27日から10月まで子育て世代の市民へのアンケート調査を行いました。子育て世代の意見として「出産祝い金があったら子育てにすごく助かる」、「給食費の無料化」、「子供とゆっくり食事できるお店が欲しい」、「保育料の低減」、「地域で育てられるようなふれあい事業」などの意見がありました。

平成28年7月19日から3日間、福岡市、国東市、別府市、延岡市、宮崎市に行政視察。11月18日に佐世保商店街へ視察。平成29年2月2日か佐賀県さが創生推進課で勉強会を開催しました。

今後も鹿島市においては、国や県と密に連携し地方創生を更に推進させるよう委員会として取り組みます。

委員長	稲富 雅和	副委員長	中村 一堯
委員	杉原 元博	委員	樋口 作二
委員	角田 一美	委員	松本 末治
委員	福井 正		
オブザーバー	(議長) 松尾勝利		



佐世保市のアーケード

## まちづくり推進構想対策特別委員会

去る平成27年6月12日の本会議におきまして、まちづくり推進構想対策特別委員会を設置することが決定されました。

まず平成27年11月16日～18日に熊本県から鹿児島県にかけて視察を行いました。熊本県におきましては、山鹿市の歴史の街づくり、新庁舎・市民交流センターを視察。鹿児島県阿久根市におきましては、新幹線開業後のまちづくりについて、各市役所担当課と鉄道会社より、これまでの取り組みと、これからの問題点を克服するためにどのような対策をとっているか説明を受けました。

平成28年1月21日、市民会館建設検討委員会7名、市執行部6名、まちづくり推進構想対策特別委員会8名の計21名で意見交換会を行いました。

市民会館建設検討委員会から、専門的な制限・法律的課題・立地的条件等、市民の団体・学校・PTA・公募市民の委員さんに協議をいただいた結果、建設の方向でいくという提言がなされました。意見交換会のなかでも、建設の方向で財源等に配慮しながら、慎重かつ丁寧に議論をしていくということになりました。

現在までに報告できる内容としましては、新世紀センターが完成し鹿島市の防災に大きく貢献している事、市民会館の建設については進めていくという方向性が決まったという事です。しかしながら、市民会館の持つ機能をどれだけ市民生活に役立てることができるか、ということがこれからの大きな課題になってくると考えられます。

委員長	徳村 博紀	副委員長	勝屋 弘貞		
委員	片淵清次郎	委員	中村 和典	委員	松田 義太
委員	伊東 茂	委員	松尾 征子		
オブザーバー	(副議長) 光武 学				

## 総務建設環境委員会審査報告書 議案第8号

平成29年2月28日の本会議において付託されました議案第8号「鹿島市犯罪被害者等支援条例の制定について」は、3月6日に委員会を開き、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、会議規則第98条の規定により報告します。

条例制定の背景として、犯罪被害者等は精神的、経済的被害等の副次的な被害に苦しむことも少なくない。誰もが犯罪被害者等になる可能性がある中、犯罪被害者等の視点に立った施策を講じ、その権利利益の保護を図る必要がある。

条例第1条の目的は、犯罪被害者等基本法に基づき、鹿島市における犯罪被害者等の支援の施策を推進し、犯罪被害者等が受けた被害の軽減及び回復を図り、もって安心なまちづくりに寄与することである。

第3条で市の責務、第5条で市の支援、第6条で見舞金の支給について規定している。条例は、平成29年4月1日から施行する。

## 総務建設環境委員会審査報告書 議案第9号

平成29年2月28日の本会議において付託されました議案第9号「鹿島市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について」は、3月6日に委員会を開き、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、会議規則第98条の規定により報告します。

条例制定の理由は、公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律に基づき、職員を公益的法人等へ派遣するために必要な事項を定めるためである。本市では従前から公益的法人等と協力関係を構築してきた。今後、地方創生や地域主権が進展していく中、公益的法人等との連携をより一層強化していくことが求められることが想定される。

第2条は職員を派遣できる公益法人等や期間及び取り決め、第4条は派遣職員の給与について規定している。

条例は、平成29年4月1日から施行する。



委員長	伊東 茂
副委員長	勝屋 弘貞
委員	片淵清次郎
委員	樋口 作二
委員	中村 一堯
委員	稲富 雅和
委員	松尾 征子
委員	光武 学



# 議会あれこれ

(平成29年1月～3月)

## 1月

- 6日 議会だより編集委員会
- 13日 佐賀県市議会議長会
- 17日 全員協議会
- 18日 議会だより編集委員会
- 23日 議会だより編集委員会
- 24日 議会運営委員会行政視察（～26日）
- 26日 九州市議会議長会理事会

## 2月

- 2日 全国広域連携市議会協議会総会  
地方創生対策特別委員会行政視察
- 8日 議会運営委員会
- 9日 全国市議会議長会評議員会
- 13日 国道498号整備促進期成会 県への提案活動
- 14日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会定例会議案勉強会
- 15日 総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 16日 杵藤地区広域市町村圏組合議会定例会議案勉強会
- 17日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会定例会  
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 22日 議会運営委員会  
全員協議会
- 23日 佐賀県西部広域環境組合議会定例会
- 24日 鹿島市議会3月定例会 開会（～3月23日）  
全員協議会  
杵藤地区広域市町村圏組合議会定例会
- 28日 3月定例会 議案審議・討論・採決

## 3月

- 2日 3月定例会 議案審議・討論・採決
- 6日 総務建設環境委員会
- 7日 新年度予算審査特別委員会（～14日）  
地方創生対策特別委員会
- 16日 3月定例会 一般質問（～23日）  
全員協議会

- 21日 まちづくり推進構想対策特別委員会
- 24日 3月定例会 委員長報告・議案審議・討論・採決・閉会  
議会運営委員会  
全員協議会
- 28日 杵藤地区広域市町村圏組合議会定例会

# 行政視察受入状況

(平成29年1月～3月)

1月11日 大分県中津市議会 1名

1月23日 広島県東広島市議会 3名

1月27日 愛知県江南市議会 8名

2月 2日 岡山県玉野市議会 8名

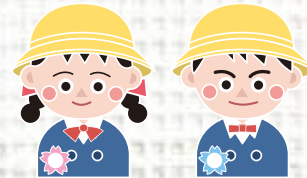
2月14日 千葉県香取市議会 3名

3月17日 佐賀県太良町議会 6名

# 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	1月		2月		3月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	1	21,600	1	21,600
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	2	9,000	4	22,000	4	24,000	10	55,000
接遇	0	0	1	8,910	0	0	1	8,910
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	9,000	5	30,910	5	45,600	12	85,510



## 編集後記

春は子供たちの成長をお祝いする季節です。

三月の卒業式では市内の小学生248名、中学生314名が母校を巣立ち、先で行われた入学式では、新小学一年生275名、新中学一年生241名が誕生しました。新入生の皆さんは、大志を胸に、希望にあふれ、親の期待を背負い、これからの学校生活にチャレンジされることでしょう。

昨年より18歳選挙権がスタートしました。

子ども達も鹿島市民であり、主権者という意識を持てる場を我々が築いていかなければならないと思います。

### 【編集委員】

- 委員長 片淵 清次郎
- 副委員長 中村 一堯
- 委員 松尾 征子
- 委員 伊東 茂
- 顧問 光武 学

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

